



## 〔びわ湖環境ビジネスメッセ2012〕



〔賑わいをみせる K-RIP ブース〕



〔出展者 ((株)ワイビーエム 増本取締役  
技術本部長) によるプレゼン〕

| 《Contents》                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 《Page》 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| I. 第2回環境エネルギー戦略会議                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2～4    |
| II. エコテクノ2012で各種事業を実施                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 5～8    |
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. K-RIP 会員の出展</li> <li>2. 第5回九州環境ビジネス大賞表彰及び事例発表会</li> <li>3. 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーin 北九州</li> <li>4. アジア環境ビジネス商談会</li> </ol> </div> <div style="font-size: 3em; margin-left: 10px;">}</div> </div> |        |
| III. 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 9～10   |
| IV. びわ湖環境ビジネスメッセ2012出展                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 11     |
| V. 環境ビジネス交流会                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 12     |
| VI. 環境ビジネスの創出と人脈形成の場「エコ塾」                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 13～15  |
| VII. BOP ビジネス研究会                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 16～20  |
| VIII. K-RIPのホームページリニューアル                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 21～23  |
| IX. 平成24年度 下半期K-RIP事業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 24     |

# I. 第2回 環境エネルギー戦略会議

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(以下、K-RIP)は、環境エネルギー分野<sup>(※1)</sup>のビジネス創出に向けたネットワーク拡大及び支援方法などを検討するため、平成24年12月3日(月)、K-RIPの「環境エネルギー戦略会議(座長:(株)ワイビーエム代表取締役会長 吉田哲雄氏)」の第2回会合を開催しましたので、その概要を報告します。

なお、本戦略会議は、これまでの活動成果の普及を図るため、平成25年2月12日(火)福岡市においてセミナーを開催します。詳細は4ページをご覧ください。

(※1) ①照明・空調等の省エネ分野でのビジネス、②バイオマス等再生可能エネルギーや省エネ技術を融合した環境関連機器・システムの事業化、③国内クレジット等の活用促進、④省エネ・省資源製品・システムづくり及びマネージメント、⑤農業、食品加工、業務用ビル等省エネが進んでいない分野における省エネ診断・見える化・BEMS、HEMS、省エネ支援の先進的装置及びサービス等

## 第2回環境エネルギー戦略会議の成果

1. 各企業の固有の強みを活かし環境エネルギービジネスを促進
  - 24年度に実施した重点的取組(①「九経連、福岡商工会議所、省エネセンター等域内政策支援集団と連携したビジネスマッチング」及び「びわ湖環境ビジネスメッセでの出展・プレゼンの強化」、②戦略会議メンバー相互のビジネスモデル構築、③山東省ミッションを通じた連合体形成等の取組を実施)について、成果及び今後の課題を確認。
  - また、国内クレジット制度や25年度各省の支援事業を活用したビジネス創出の重要性を再確認。
2. 「24年度先導的・試行的事業(イノベーションを加えたビジネスモデル)」の活用と支援
  - 24年度補助事業を実施中の2社((株)タカフジによる「屋外作業環境における省エネ型照明(高効率長寿命無電極プラズマ灯)の実用性の実証」及び(株)宮防による「畜産業の遮熱対策に向けた遮熱塗料の実証」)の成果等のビジネス展開について、各委員からニーズサイドへの提案のあり方(カスタマイズの方角性)等貴重なアドバイスを実施。
3. アライアンスマッチング(地域間広域連携)事業による連合体形成
  - 全国各地域の政策支援機関のコーディネーターが連携し、広域的な出展、プレゼン、商談等を通じ、ビジネスパートナーの発掘・マッチングを支援。リサイクル困難な素材の液体燃料化に関して広域的な異業種(産産)連携の形成など。

## 吉田座長による総括概要

- 九州地域の環境関連産業の競争力強化については、市場ニーズへの機敏な対応と新たな市場創出を図るため、同業・異業種との連携強化はもとより、九州域内にとどまらず、他地域との広域連携や九州経済連合会、ニュービジネス協議会や福岡ベンチャーマーケット等他機関との連携、さらに大企業の取り込み等も重要。
- 海外への事業展開については、ミッションの報告から、昨今の中国情勢も踏まえ、今後は、ASEAN地域への進出も視野に、一層の市場獲得へ向けたビジネス戦略が必要。
- K-RIPによる販路拡大、技術連携や新事業創出等への支援を競争力強化に繋げるには、ビジネスニーズを捉えたマッチングやコーディネートを実施して、新たな事業を掴んでいく。そのためには、運営会議等を活用し、三部会の横の連携を強化し、フォローアップからそのフィードバックまでを行っていくことが重要。

【平成24年度 環境エネルギー戦略会議 委員】

| NO | 企業(団体)名                 | 委員氏名  | 役職                              | エネルギー関係カテゴリー              |
|----|-------------------------|-------|---------------------------------|---------------------------|
| 1  | ㈱キューヘン                  | 真武 秀和 | 事業開発本部 参事                       | 革新的エネルギー高度<br>利用技術等       |
| 2  | 昭和鉄工㈱                   | 福田 俊仁 | 執行役員 総合開発<br>部長                 |                           |
| 3  | ㈱西部技研                   | 岡野 浩志 | 取締役 技術開発本<br>部長                 |                           |
| 4  | ㈱ワイビーエム                 | 吉田 哲雄 | 代表取締役会長                         |                           |
| 5  | ㈱正興電機製作所                | 松尾 聡  | 取締役 事業開発本<br>部長                 | 省エネ・新エネ制御技術等              |
| 6  | ㈱安川電機                   | 山田 達哉 | インバータ事業部<br>環境エネルギー機器<br>事業統括部長 |                           |
| 7  | 西日本環境エネ<br>ルギー㈱         | 須賀 信明 | 新規事業推進部長                        | 総合省エネ・新エネ                 |
| 8  | NPO法人エコ診断<br>ネットワークジャパン | 藤原 洋記 | 理事                              | コンサル等                     |
| 9  | 環境テクノス㈱                 | 鶴田 暁  | 代表取締役                           |                           |
| 10 | ㈱九電工                    | 今岡 浩司 | エコ事業推進本部<br>エネルギー事業部長           | 建築・電機・空調等プラント<br>エンジニアリング |
| 11 | 空研工業㈱                   | 成清 重信 | 取締役 海外部長                        |                           |
| 12 | 楽しい㈱                    | 松尾 康志 | 代表取締役                           | バイオマス                     |
| 13 | 戸畑共同火力㈱                 | 川崎 順一 | 代表取締役常務                         | 卸供給事業                     |
| 14 | (社)九州経済連合会              | 箴島 修三 | 産業第二部長兼<br>環境部長                 | 政策支援機関                    |
| 15 | 福岡商工会議所                 | 井原 隆博 | 商工振興本部<br>経済部長                  |                           |
| 16 | 公立大学法人<br>北九州市立大学       | 松本 亨  | 国際環境工学部<br>環境生命工学科教授            | 学術研究者                     |

企業(団体)名はエネルギー関係カテゴリー別での「五十音順」に記載しています(敬称略)。

第2回環境エネルギー戦略会議開催風景



座長 (株)ワイビーエム  
吉田会長



副座長 北九州市立大学  
松本教授



環境テクノス(株) 武下氏  
(国内クレジット制度説明)



九州三井アルミニウム工業(株)  
牧嶋氏、森田氏 (国内クレ  
ジット活用の先進的取組)



(株)タカフジ 川邊氏  
(先導的・試行的事業報告)



(株)宮防 萩原氏  
(先導的・試行的事業報告)

**K-RIP環境エネルギーセミナー**  
～企業の環境エネルギービジネスへの展開のために～

- 【目 的】環境ビジネスに取り組む企業への今後の戦略の一助としていただくとともに、K-RIPの新たな取組として実施した「環境エネルギー分野におけるK-RIPの事業展開」について周知を図ることで、K-RIPネットワークの更なる強化及びK-RIPの存在価値の向上に繋がるよう広くPRを行う
- 【対象者】省エネルギービジネス関連企業及び環境・リサイクルビジネス関連企業並びに環境・リサイクル・省エネ設備等導入や課題解決を求める企業
- 【日 時】平成25年2月12日（火）14:00～17:30
- 【場 所】ホテルセントラザ博多 3階花筐の間 （福岡市博多区博多駅東2-1-1）
- 【主 催】K-RIP、（一財）九州産業技術センター
- 【後 援】九州経済産業局、（社）九州経済連合会、福岡商工会議所

〔セミナープログラム〕

1. 主催者挨拶【5分】（14:01～14:06）九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ会長 鶴田 暁
2. 来賓挨拶【5分】（14:06～14:11）九州経済産業局資源エネルギー環境部長 茂木 伸一 氏
3. コーディネーター紹介・ご挨拶【4分】（14:11～14:15）  
（コーディネーター）K-RIP 副会長・（株）ワイビーエム 代表取締役会長 吉田 哲雄 氏
4. 基調講演【55分】及び 質疑応答【5分】（14:15～15:15）  
『（仮）新たな環境エネルギー産業創出と今後の環境ビジネス市場の展望』  
東京工業大学 特命教授 柏木 孝夫 氏
5. K-RIP 環境エネルギー戦略会議の活動報告【20分】（15:15～15:35）  
『（仮）K-RIP の環境エネルギー分野への新展開』  
北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科 教授 松本 亨 氏
- 《 休 憩 （15:35～15:45） 》
6. 講演1【20分】（15:45～16:05）  
『（仮）北九州スマートコミュニティ創造事業とアジア低炭素化センターの動き』  
北九州市環境局 理事 松岡 俊和 氏
7. 講演2【20分】及び 質疑応答【5分】（16:05～16:30）  
『（仮）環境エネルギー分野における（株）キューヘンの事業展開』  
（株）キューヘン 事業開発本部 企画部 参事 真武 秀和 氏
8. 講演3【20分】及び 質疑応答【5分】（16:30～16:55）  
『（仮）遮熱塗料ファームバリアの畜舎等における省エネ実証の成果』  
（株）宮防 荻原 英範 氏
9. 講演4【20分】及び 質疑応答【5分】（16:55～17:20）  
『（仮）無電極プラズマ放電灯の工場等における省エネ実証の成果』  
（株）タカフジ 事業開発部 川邊 慎 氏
10. 総括【10分】（17:20～17:30）  
・九州の環境エネルギービジネスの展望とK-RIPの新たな展開  
K-RIP 副会長・（株）ワイビーエム 代表取締役会長 吉田 哲雄 氏

## Ⅱ.エコテクノ2012で各種事業を実施

平成24年10月11日（木）から13日（土）までの3日間、北九州市小倉北区の西日本総合展示場で地球環境・新エネルギー技術展&セミナー「エコテクノ2012」が開催されました。17回目の開催となる今回のエコテクノでは、PVやバイオマスなどの再生可能エネルギーや省エネルギー技術に関するセミナーのほか、「国際環境ビジネス商談会」や香港貿易発展局による「エコビジネスのセミナー」など国際展開を支援する事業も実施され、出展社数は昨年度実績（242団体）よりも多い264団体（325小間）、来場者は3日間で27,588人（昨年度来場者数27,497人）と盛況のうちに終了しました。

開催期間中、K-RIPでは会員企業3社（販路開拓プロジェクト採択企業）の出展支援、K-RIP会員企業の優れた製品を表彰・紹介する「第5回九州環境ビジネス大賞表彰式・事例発表会」や企業間のマッチングを目的とした「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーin北九州」、「国際環境ビジネス商談会」を実施しました。

### 1. K-RIP 会員企業の出展

【日 時】 平成24年10月11日（木）～13日（土）10:00-17:00

【場 所】 西日本総合展示場 新館

【内 容】 平成24年度販路開拓プロジェクトに採択された3社（（株）再生エネルギー開発、（株）サイム、（株）トワード）が、K-RIPブースで製品等の展示を行いました。

### K-RIP ブースで各社が紹介した製品

◆**出展者**：株式会社 再生エネルギー開発

◆**製品名**：「鉛バッテリー再生装置（エネリード）」

◆**概 要**：オリジナルのバッテリー再生装置（エネリード）は、電気処理による再生技術で、85%以上という新品に近い再生率を実現し、バッテリーを3倍以上長持ちさせることが可能。それにより、鉛バッテリーの廃棄量が3分の1になるとともに、必要な原材料（鉛等）も従来の3分の1で足り、環境への貢献度が高く、省資源リサイクルに繋がる。電動フォークリフトや太陽光蓄電池などのバッテリーの再生に最適で、価格は通常のバッテリーの3分の1と、価格競争力もある。

◆**出展者**：株式会社 サイム

◆**製品名**：「ラマンプラスチック識別機」

◆**概 要**：研究室レベルの分析原理（ラマン散乱分光法）を用いた分子構造分析で廃プラスチックを種類毎に識別する、初の製品。比重法や反射吸収法に比べ、高精度かつ高速に識別が可能。また、サーマルリサイクル利用が中心であった廃プラスチックを家電リサイクル・OA機器リサイクル・容器包装リサイクルといったマテリアルリサイクルへの適用が容易となり、これにより、原料となる石油の使用削減にも貢献が可能となる。



◆**出展者**：株式会社 トワード

◆**製品名**：「ECO-SAM（エコサム）」

◆**概 要**：ECO-SAM（エコサム）は、個々のドライバーの運転を解析し数値化・可視化することで、安全運転とエコドライブの管理を簡単に行う装置。

また、運転状況を解析することで事故予備軍の早期発見も可能。使い方も非常に簡単で、装置をシガーソケットに差し、運行後専用のソフトに取り込むと、その日の運転状況を表した運転レポートが自動で表示される。

数値化することで燃費改善が即座に可能となり、CO<sub>2</sub>排出量の削減による環境保全の実践が可能となる。



【結果】※出展後アンケート

|              |         |
|--------------|---------|
| ブース来場者（のべ人数） | 242名    |
| ビジネスに繋がる訪問者  | 38名     |
| 商談件数         | 3件      |
| 商談見込額        | 3,000千円 |

## 2. 第5回九州環境ビジネス大賞表彰式及び事例発表会

【日 時】 平成24年10月12日（金）13:30～15:30

【場 所】 エコテクノ会場内特設ステージ

【内 容】 第5回九州環境ビジネス大賞等を受賞した3社を表彰し、受賞企業製品のプレゼンテーションを行いました。

大賞受賞団体：(株)ワイビーエム

優秀賞受賞団体：三菱長崎機工（株）

奨励賞受賞団体：(株)アマミファッション研究所



※九州環境ビジネス大賞とは

地球環境問題に対応した企業の優れた製品・サービスに対する社会的認識の拡大、製品・サービスの販路拡大等を目指して、K-RIPが平成20年度より行っている表彰制度です。

## 九州環境ビジネス大賞

受賞団体：株式会社ワイビーエム（佐賀県唐津市）

### 受賞製品 「噴流式高効率気液混合装置 フォームジェット」

フォームジェットは、キャビテーションおよび激しい渦流のせん断力を利用した高効率気液混合装置。本装置は、産業排水処理施設において、高濃度酸素ガスと排水を気液混合し、発生汚泥量の削減および嫌気性臭気対策に効果を発揮する。

その他、海・湖沼などの貧酸素対策およびオゾンガスを利用したアオコ対策の導入事例多数。



## 九州環境ビジネス優秀賞

受賞団体：三菱長崎機工株式会社（長崎県長崎市）

### 受賞製品 「循環型連続式水熱反応処理装置「メタサウルス」」

メタサウルスは、「高性能連続式水熱反応器」を用いて、汚物等のタンパク質に代表される「易分解性有機物」を加水分解させた後、滞留日数5日で消化ガスに転換消滅させ汚泥を5分の1に減量化する技術です。

本技術最大の特徴は、汚泥から転換した消化ガスのみで運転するためランニングコストを極端に低く抑えることが出来ることにある。



## 九州環境ビジネス奨励賞

受賞団体：株式会社アマミファッション研究所（鹿児島県奄美市）

### 受賞製品 「あま肌スキンケアシリーズ」

「あま肌スキンケアシリーズ」は、奄美地方においてのみ作られる黒糖焼酎のもろみから抽出した黒糖もろみエキス配合のオリジナルブランド商品で、焼酎粕による環境負荷を解決するため、産学官連携のプロジェクトにて研究開発。

独自技術（特許取得）により、メラニン色素を抑制するなどの機能性成分の工業的な抽出に成功した。



### 3. 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーin 北九州

※「Ⅲ. 環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー」で詳細を記載。

【日 時】 平成 24 年 10 月 11 日（木） 13:00～17:00

【場 所】 エコテクノ会場内特設ステージ

【内 容】 環境ビジネスを手がける九州圏外の企業 7 社が、九州企業とのアライアンス（九州での販売網開拓、事業移管等）を求めて、自社の保有する製品・技術等をプレゼンしました。また、九州圏外企業 7 社と九州内企業 12 社による個別の商談会を実施し、13 件の商談が行われました。



### 4. アジア環境ビジネス商談会

九州経済産業局、北九州市、K-RIP、九州経済連合会、日本貿易振興機構、西日本産業貿易コンベンション協会、西日本シティ銀行は、「エコテクノ」の開催に合わせ、環境製品等を取り扱う中国・韓国企業と日本企業による「国際環境ビジネス商談会」を開催しました。

平成 24 年度の「エコテクノ 2012 (10/11-13)」では、中国企業の訪日がキャンセルされたため、韓国企業 9 社と日本企業 18 社が商談を行いました。

商談会では、33 件の商談が行われ、うち 21 件は商談を継続していく予定です。

関係機関が共同して実施することで、事業の効率化・大規模化が図られるとともに、地域一体となった支援体制の構築に向けた動きが加速しつつあります。

【日時】平成 24 年 10 月 12 日（金） 15 時 30 分～18 時 30 分

【場所】西日本総合展示場 エコテクノ会場内特設ブース

【主催】北九州市、北九州商工会議所、九州経済産業局、（公財）西日本産業貿易コンベンション協会（社）九州経済連合会、九州経済国際化推進機構、（独）日本貿易振興機構

【共催】（株）西日本シティ銀行、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）

【商談結果】

＜商談件数＞ 33 件（うち、継続案件 21 件）

＜参加企業数＞ 日本企業 18 社、 韓国企業 9 社



〔交流会場(商談会)の様子〕



# Ⅲ. 環境ビジネスアライアンス マッチングセミナー

各地域の支援機関等で構成される環境ビジネス交流フォーラムと連携し、九州地域の枠を超え全国展開へ向けてビジネスチャンスを広げるための新たな取り組みとして、「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー」を開催しました。

本事業は、中堅・中小企業同士が互いのリソースを補完し合って、互にメリットが生まれる事業を創出することを目的とした事業で、今年度は全国7カ所で開催される予定で、これまで北九州・山形・仙台・岡山・大阪で開催（浜松、沖縄開催予定）しました。



## >>環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー事業スキーム<<



### 1. 北九州開催

【日 時】 平成 24 年 10 月 11 日 (木) 13:00～17:00

【場 所】 エコテクノ会場内特設ステージ (北九州市小倉北区)

【プレゼン企業数】 7 社 (東北地区 2 社、近畿地区 3 社、中国地区 1 社、沖縄地区 1 社)

【商談件数】 13 件



## 2. 山形開催、仙台開催

### ■山形開催

【日 時】 平成 24 年 11 月 7 日（水）

【場 所】 霞城セントラル 3 階（山形市）

【プレゼン企業数】 18 社（東北地区 15 社、中国地区 2 社、九州地区 1 社）



### ■仙台開催

【日 時】 平成 24 年 11 月 8 日（木）～9 日（金）

【場 所】 アエル 6 階（宮城県仙台市）

【プレゼン企業数】 32 社（東北地区 21 社、近畿地区 6 社、中国地区 2 社、九州地区 2 社、沖縄地区 1 社）

【商談件数】 22 件 ※山形・仙台開催での件数

## 3. 岡山開催

【日 時】 平成 24 年 11 月 16 日（金）

【場 所】 岡山ロイヤルホテル（岡山市）

【プレゼン企業数】 6 社（東北地区 1 社、中国地区 1 社、四国地区 1 社、九州地区 2 社）



## 4. 大阪開催

【日 時】 平成 24 年 11 月 27 日（火）

【場 所】 阪急ターミナルビル（大阪市）

【プレゼン企業数】 11 社（東北地区 2 社、近畿地区 5 社、中国地区 1 社、九州地区 2 社、沖縄地区 1 社）

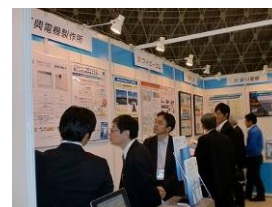
【商談件数】 40 件



## IV. びわ湖環境ビジネスメッセ 2012 出展

平成24年10月24日（水）から26日（金）までの3日間、滋賀県長浜市の滋賀県立長浜ドームで国内最大級の環境産業総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ2012」が開催されました。開催期間中、K-RIPでは会員企業7社（販路開拓プロジェクト採択企業3社、環境エネルギー分野出展枠4社）の出展支援と、出展者によるプレゼンテーションを行いました。本見本市はBtoBに特化されており、例年来場者・出展者の満足度も高く好評であるため、K-RIPの出展支援対象見本市として選定しました。

今回の見本市は出展者が300団体、来場者は3日間で35,500人と盛況のうちに終了しました。



【日時】2012年10月24日（水）～10月26日（金）

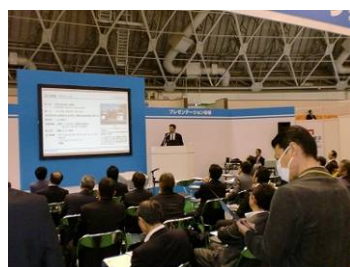
【場所】滋賀県立長浜ドーム（滋賀県長浜市）

【出展内容】

| 出展企業       | 出展内容         |
|------------|--------------|
| 販路開拓プロジェクト | (株)再生エネルギー開発 |
|            | (株)サイム       |
|            | (株)トワード      |
| 環境エネルギー分野枠 | (株)正興電機製作所   |
|            | (株)ワイビーエム    |
|            | (株)宮防        |
|            | (株)安川電機      |

【出展者プレゼンテーション内容】

| プレゼン日時               | プレゼン企業     | プレゼンテーマ                    |
|----------------------|------------|----------------------------|
| 10月25日（木）14:00～14:25 | (株)ワイビーエム  | 地中熱利用冷暖房システム 熱交換井深度30m方式   |
| 10月25日（木）14:35～15:00 | (株)宮防      | 省エネ遮断熱塗料「ファームバリア」          |
| 10月26日（金）14:00～14:25 | (株)安川電機    | Enewell-SOL（太陽光発電用パワコン）    |
| 10月26日（金）14:35～15:00 | (株)正興電機製作所 | 分散電源を活用した「民生及び産業用」電力貯蔵システム |



【結果】※出展後アンケート

|              |             |
|--------------|-------------|
| ブース来場者（のべ人数） | 7 6 3 名     |
| ビジネスに繋がる訪問者  | 5 0 名       |
| 商談件数         | 1 2 件       |
| 商談見込額        | 8, 0 0 0 千円 |



## V. 環境ビジネス交流会

ー九州経済連合会資源・環境委員会との共同開催事業ー

環境ビジネスは、メーカーやリサイクル業者、販売代理店等の関係会社との連携なしに、一社のみで事業化することは極めて困難です。そこで、様々な環境サービスの提供者が多いK-RIPと環境サービスの利用者が多い（社）九州経済連合会の会員企業とのマッチングの機会となるよう、環境ビジネスネットワークづくりの一環として、九経連の資源・環境委員会に合わせて環境ビジネス交流会を開催しました。

【日時】：平成24年12月7日 14:00～18:10（意見交換会 17:10～18:10）

【会場】：電気ビル共創館3階カンファレンスC（福岡市中央区渡辺通2-1-82）

【主催】：（一財）九州産業技術センター、K-RIP、（社）九州経済連合会

【後援】：九州経済産業局

参加人員：82名

【プログラム】

### ◆基調講演（14:00～14:50）

演題：エネルギー政策の現状とビジネスへの影響

講師：福岡大学研究推進部客員教授

永野 芳宣 氏

### ◆K-RIP 会員企業の環境配慮製品紹介（15:00～17:00）

- ・【噴流式高効率気液混合装置「フォームジェット」】 (株)ワイビーエム 企画開発部主任 坂本 大樹 氏
- ・【ECO-SAM（エコサム）】 (株)トワード エコドライブ事業本部営業課 浦野 敬史 氏
- ・【鉛バッテリー再生装置（エネリード）】 (株)再生エネルギー開発 代表取締役 平塚 正行 氏
- ・【ランププラスチック識別機】 (株)サイム 代表取締役 土田 保雄 氏
- ・【省エネ遮熱塗料「ファームバリア T i o」】 (株)宮防 営業部長 荻原 英範 氏
- ・【省エネ照明装置（Lvi Lightung System）】 (株)タカフジ 事業開発部室長 川邊 慎 氏

### ◆意見交換会（17:10～18:10）



〔永野 芳宣 氏による基調講演〕



〔K-RIP 企業による製品紹介〕

K-RIP 環境配慮製品紹介では今年度九州環境ビジネス大賞受賞企業、販路開拓支援事業採択企業及び先導的・試行的事業採択企業が発表致しましたが、アンケート結果によると製品紹介について81%の参加者より満足との評価を頂きました。また、発表後の意見交換会ではパネルや製品展示を行い、九経連会員企業に対し個別に商品説明するなど、ビジネスマッチング創出の機会となった交流会でした。

## VI. 環境ビジネスの創出と人脈形成の場 「エコ塾」 ―毎月第1水曜日開催―

K - R I Pでは九州経済産業局と連携して、環境分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的とする、「エコ塾」を毎月1回開催しています。「エコ塾」は、環境関連ビジネスに取り組む企業や環境ビジネスを支援する団体等のプレゼンテーション（毎回2社講演）と、講演後の交流会（立食形式）の2部形式となっております。

今回は第63回～第65回までの概要を報告します。

### 第63回エコ塾

【日 時】平成24年10月3日（水）17:00～

【参加人数】講演会：50名 / 交流会：29名

○『熱交換器の自動洗浄で省エネ・省コストを実現！ ～ボール式熱交換器自動洗浄装置（XAC：ザック）のご紹介～』

〔発表者〕：(株)石橋技販 取締役営業本部長 石橋 正彦 氏

〔概要〕：ボール式熱交換器自動洗浄装置（XAC：ザック）は、チューブタイプの熱交換器を対象としており、天然ゴムのボールが熱交換器の中を行き来する物理洗浄を毎日自動的に繰り返すことによって、常に高い熱効率を維持することを可能としました。この方式を採用することで熱交換器が汚れないため、従来のブラシ洗浄や薬品洗浄が不要となり、洗浄コストが削減でき、さらに汚れの付着によるエネルギー効率の低下を防ぐため10～30%の省エネ効果を得ることが出来ます。

会場では、投資コストの回収期間も短く、省エネ効果抜群のため、多くの参加者が興味をもち、活発な質疑応答が行われました。

○『ローテクなのに新しい、次世代照明solana（ソラナ）について』

〔発表者〕：(株)豊光社 ライティング事業部 営業 橋内 慎 氏

〔概要〕：solana（ソラナ）は、蛍光灯とLEDという照明市場に対する第3の選択肢製品です。CCFL（冷陰極管）は、40年ほど前から世界中で使われている既存技術で、液晶テレビなどのバックライトとして、身近に使われている光源ですが、このCCFLを照明の光源として採用し、当社のプリント基盤技術を融合させ、次世代照明「solana」を開発しました。

「solana」は、一般的な蛍光灯と比べ消費電力を約20～40%抑えることができ、製品寿命も3～6倍長く、1日12時間使用しても10年以上メンテナンスフリーです。

さらにLEDと同等の省エネ性能であるにもかかわらず価格は3分の1程度と安価で、LEDでは味わえなかった「光の広がり・刺激の少ない自然な光・多彩なカラーバリエーション」を実現しました。今年の9月からは、タイでの現地生産・販売を予定しており、海外展開にも積極的に取り組んでいます。「solana」は、環境に配慮した省エネ型の照明として、工場・オフィス・商業施設・病院など様々な場所で活用することができます。

既存技術に当社の強みを掛け合わせ開発したsolana（ソラナ）に対して参加者は大変関心を持たれ、様々な鋭い質問が飛び交いました。



〔(株)石橋技販 石橋氏〕



〔(株)豊光社 橋内氏〕



〔講演会の様子〕



## 第64回エコ塾

【日 時】平成24年11月14日（水）17:00～

【参加人数】講演会：80名 / 交流会：48名

### ○『低コスト！省エネ型！

粒子の拡散を利用した目詰まりしない孔拡散膜分離の水処理装置について』

〔発表者〕：(株)セパシグマ 研究所 副所長 尾池 哲郎 氏

〔概 要〕：「孔拡散型水処理技術」は、安価なセルロース製分離膜に、粒子の熱運動（拡散）と流体に働く力（集軸効果）を活用した目詰まりしない次世代型膜分離技術です。本技術では小さな力で水粒子が膜を透過し、有害粒子を分離します。

消費電力はわずか80W。太陽光でも稼働でき、落差があり一定の水流速度が確保できれば、無電力（位置エネルギーのみ）で水の浄化が可能です。

これまで生物処理を行っていた小規模工場にとっては最適な製品です。

当社では、現在販売企業を募集しており、当社デモ装置にてサンプル排水の浄化テストも可能。また本製品のレンタルも行っているのでご関心がある方はぜひご連絡をいただきたいとのことです。

現在、ASEAN（インドネシア）地域への展開にも取り組まれており、今後の活躍が期待されます。



〔株)セパシグマ 尾池氏〕



〔講演会の様子〕



〔交流会の様子〕

## 第65回エコ塾

【日時】平成24年12月5日（水）17:00～

【参加人数】講演会：43名 / 交流会：29名

### ○『陶磁器×環境技術の融合！①抗菌防ダニ材②蓄光製品③陽極接合技術のご紹介』

〔発表者〕：長崎県窯業技術センター 環境・機能材料科 科長 阿部 久雄 氏

〔概要〕：長崎県窯業技術センターは、環境・機能材料分野の研究開発に力を注いでおり、今回はその中から3つの製品技術について紹介しました。

#### ◆殺虫成分使用しない天然物を用いた忌避剤◆

粘土鉱物に天然物のヒノキチオールを複合化した防ダニ剤は、通常の生活環境下においても一定期間ダニを寄せ付けません。ダニの死骸が残らないため、アレルギー対策としても期待されています。また水中での長期徐放性に優れた抗菌剤タイプもあり、温泉循環水や工場循環水に用いると、レジオネラ属菌の抑制に大変有効なことが分かりました。

#### ◆昼間に光エネルギーを吸収し、暗くなると光を発する高輝度・高耐候性蓄光製品◆

既存の蓄光製品と比べ残光輝度に優れており昼間に光エネルギーを吸収すると日没から10時間経過してもJIS規格の2倍以上の輝度を維持します。本製品はガラスフリット素材のセラミックス製品のため、樹脂製の蓄光製品に比べて耐久性に優れており、東京都営地下鉄の非常口表示板に採用されたほか、街灯のない階段や駐車場などへ設置されています。

#### ◆陶磁器と金属箔の陽極接合◆

陶磁器に施される釉薬層（ガラス相）とアルミニウム箔を積層し、数百Vの電圧をかけると、低温・短時間で直接かつ強固に接合できます。この接合技術は接着層を必要とせず、大気中でも行うことができるなど実用性が高い技術で、本技術を活用した商品化や連携等が今後期待されます。

### ○『再生率85%以上！鉛バッテリー再生装置「エネリード」のご紹介！』

〔発表者〕：(株)再生エネルギー開発 代表取締役 平塚 正行 氏

〔概要〕：エネリードは、使用済の鉛バッテリーが新品同様に生まれ変わる装置（再生率85%以上）です。

これまで、鉛バッテリーは使用後に廃棄されてきましたが、当社はこれを高効率で再生できる技術を開発し、使用済鉛バッテリーの寿命を3倍に長持ちさせることが可能となりました。また、再生バッテリーは新品の3～4割の価格で提供することが可能です。

しかし、バッテリーの重量は約500kgと重く輸送にコストがかかってしまうという課題があるため、当社技術を応用し、拠点となる再生工場を担っていただける代理店を探しています。

会場では、活発な質疑応答が行われ、参加者の関心の高さが伺えるとともに、今後の活躍が期待されます。



〔長崎県窯業技術センター 阿部氏〕



〔(株)再生エネルギー開発 平塚氏〕



〔講演会の様子〕

## Ⅶ. B O P ビジネス研究会

K－R I Pでは国際ビジネスの海外展開に向けた新たな取組としてB O Pビジネス（※）研究会を設置しています。本研究会では、B O Pビジネスに挑戦する企業を発掘し、その事業課題の把握、課題解決に向けた支援策の検討等を行い、九州地域におけるBOPビジネスの支援体制の構築、地域連携型の支援モデルの構築を目指します。

中長期的には、本研究会の取組を通じて、将来的に大幅な市場成長が見込まれるB O P市場を早期に開拓し、また、B O P層の所得向上で誕生する新市場に対し、九州地域の環境ビジネス・ネットワークを通じて、段階的に幅広く環境製品・サービスを提供し、両地域の地域間交流の促進、現地での日本ブランドの構築に取り組んでいきます。

（※）BOPとは「Base of the Pyramid」の略。世界の所得別人口構成の中で、最も収入が低い所得層を指す言葉で、約40億人がここに該当すると言われる。BOPビジネスは、市場規模が約5兆ドルにも上ると言われるこの層をターゲットとしたビジネスのこと。直接的な利益の獲得を目的としないCSR活動の発展形とも言えるもので、企業の利益を追求しつつ、低所得者層の生活水準の向上に貢献できるWin-Winのビジネスモデルが求められる。

### 《第1回 B O P ビジネス研究会》

【日時】平成24年9月24日（月）13時00分～14時50分

【場所】電気ビル共創館3FコンファレンスルームD

【プログラム】

- （1）研究会メンバーの取組紹介（B O Pビジネス支援等にかかる取組等）
- （2）研究会の趣旨説明、本日のキックオフセミナーについて
- （3）B O Pビジネス研究会の進め方にかかる意見交換

主な意見交換内容は以下のとおり。

#### ①支援機関の支援策の検討の方向性

- ・B O Pビジネスは、従来のビジネスとの違いを意識することが重要。それは製造コスト削減や売り方などの次元とは異なる。富裕層向けの高付加価値を追求したイノベーションの方向性からの脱却と、現地の住民の雇用創出・市場創造を視野に入れたコトづくりが重要。また、優れたビジネスモデルの創造が重要である。
- ・こうした中、支援機関が従来の支援策で企業を応援しても、B O Pビジネスに挑戦する企業を効率的に支援できない。支援機関自らも支援策のやり方を変えていく必要がある。支援機関ではなかった機関も取り込んで、様々なパイプを活用できる体制を地域に構築することが重要。

#### ②企業の取り組み課題例

- ・水分野のB O Pビジネスにおいて、コストを下げるために、機器売り会社が水の品質を保証する必要があるが、まだ免責に拘っておりビジネスが進まない状況がある。

#### ③企業への情報提供の内容

- ・第2回BOPビジネス研究会のメンバーとなる企業については、すでに複数の支援機関が支援している企業があるので考慮する必要がある。
- ・研究会の支援機関AとBが、同じ水分野で異なった企業チーム a とb を各々支援している場合、Aがa を支援する中で得た機微な情報・ノウハウを b に提供することは問題なので、その場合は、その情報を除く情報やノウハウなどの提供に限られる。



〔冒頭挨拶する松崎課長〕



〔研究会の開催風景〕



## 《BOP／PPPアジアビジネス戦略セミナー》

【日時】平成24年9月24日（月）15:00～17:30

【場所】電気ビル共創館6階 九州経済連合会 会議室

【参加者】70名

【プログラム】

◇15:05-15:20 『アジアに対するインフラ輸出支援』

経済産業省 貿易経済協力局 資金協力課 企画官 明石 和彦 氏

◇15:25-16:25 『我が国企業の海外展開のチャンスについて ～BOP市場、PPP事業の可能性～』

新日本有限責任監査法人 パブリック・アフェアーズ部 エグゼクティブディレクター 山田 聡 氏

◇16:30-17:30 『日本ポリグル株式会社のBOPビジネス』

日本ポリグル株式会社 代表取締役会長 小田 兼利 氏

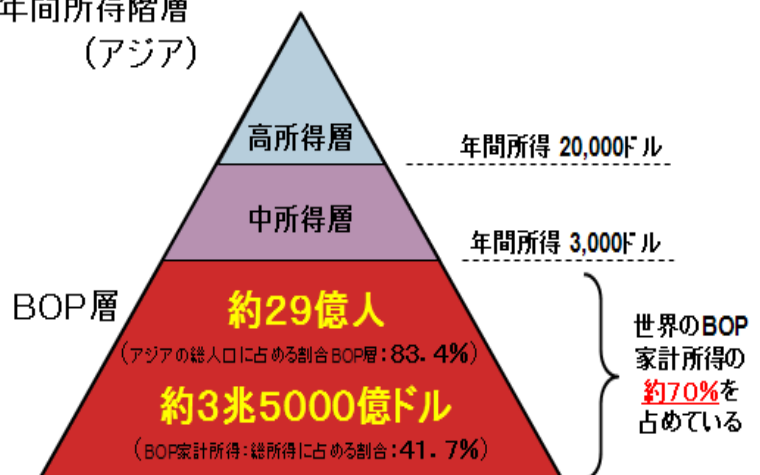
### 〔参考（小田会長の講演要旨）〕

- ・BOPビジネスを始めるためには、セミナーをいくら聞いてもダメであり、実際に現地へ行き、体験することが重要。
- ・現地の目線でモノを見ることが重要。日本だと驚かれるが、意外にも土砂等の運搬用の一輪車の製作などがビジネスになったりする。
- ・BOPビジネスの案件の善し悪しの判断は、銀行員が融資する際の審査視点で行ってもだめ。そもそも従来のビジネスとは異なるので、経営の安定性などを重視するのではなく、新しい視点で審査することが重要。経産省から過去に支援を頂いたが、彼らは、途上国で市場開発を行うというビジネスについては、従来と異なる視点で評価する必要性を認識していた。
- ・日本と隣国との間で摩擦が起きているが、問題の多い国であえて商売する必要は無い。多くの国々で、日本企業が、そして日本人が愛されているのだから。ラテンアメリカでも、日系移民達が地道な活動を続け、移住先で貢献してきたことから、日本への感謝と尊敬の念が生まれ、ファンを生み出した。そして、先人が築いてきたこれらの遺産を活用させて頂き、更にその地で貢献していくことが重要。
- ・しかし、世界各国の日本人気も、日本人が現地での貢献等の努力を怠れば薄らいでしまう。独り善がりの技術、思い上がった技術では現地の人たちの思いに応えられない。現地の人たちへの優しさ、日本人としての正しい倫理観を持ち、生きがいを持って、あきらめずに粘り強く続ける。そうした努力を続けていくことがBOPビジネスでは重要だと考える。



〔日本ポリグル(株)の小田会長〕

### 年間所得階層 (アジア)



〔出所〕「The Next 4 Billion」(2007)



## 《第2回 BOPビジネス研究会》

### 【概要】

実際にBOPビジネスに挑戦している企業から取組計画や課題をプレゼンしてもらい、各支援機関・専門家から助言、情報提供等を実施。またBOPビジネスに挑戦する必要性、意義等について議論を行ったほか、BOPビジネス戦略のポイント等についても検討を行った。

【日時】平成24年11月15日（木）14時00分～17時30分

【場所】福岡合同庁舎本館8階第8会議室

### 【プログラム】

#### （1）企業のプレゼン・意見交換（BOPビジネスの事業課題と支援機関からの助言内容の概要）

##### ◆事業課題1：支援機関・支援ツールとのアクセス困難、国内のパートナー探し（A社）

⇒K-RIP等産学官のネットワーク組織に入ること、支援機関・パートナーとのマッチングが容易になる。

##### ◆事業課題2：製品技術と途上国市場との適合性（A社）

⇒匠の技術、静音性等が途上国市場で競争優位をもたらすかどうか再検討が必要かもしれない。  
⇒売り先は行政か、個人か、明確化しておくことがベター。行政の方がリスク回避の面から良いと思う。  
⇒夜明るくするだけでも市場創造の効果大。使い方のバリエーションの準備も重要。

##### ◆事業課題3：貧困層の巻き込み、ビジネスモデルの構築（A社、B社、C社）

⇒貧困層をバリュー・チェーンの中に取り込み、所得向上を図る仕組みを検討  
頂くと、市場創造につながり、製品の販路拡大にも寄与するのでは。  
⇒最初の投資が難しい。最初に村で買ってもらい、効果が見えてきた中で、徐々に普及させ、少しずつ利益を回収させることが重要では。  
⇒現地の行政機関に全体的なプランニングを提案するのが重要では。  
⇒市場については、コミュニティ需要と個人需要があるが、BOPビジネスは個人の需要にマッチするものと考えている。  
⇒C社の現状の製品はコミュニティ需要に対応するように見える。  
⇒途上国はお金よりもサービスがないことの方が多いので、検討してはどうか。

##### ◆事業課題4：「欲しい＝寄付してほしい」というケースもあり、マーケティングが困難（B社）

⇒JICAの支援ツールで、企業の社員を長期に派遣することが可能。これを有効活用するのも一案。  
⇒ジェトロでは途上国にBOPの専門家を配置。彼らを有効活用することも重要。

##### ◆事業課題5：現地パートナーの発掘（B社）

⇒現在、ジェトロなどを通じて発掘中とのことだが、現地NGO等を活用して発掘するのも一案では。  
⇒国連でも現地パートナー企業探しを支援している。ジェトロでも現地にBOP専門家を配置している。



〔研究会開催風景〕

## (2) 総合討論

### ①BOPビジネスに挑戦する必要性、意義等の議論

#### ◆企業活動をめぐる課題

- ・国内市場全体の縮小（人口減少、企業数減少）、内需の低迷。しかし、海外市場も競争激化。

#### ◆対応の方向性

- ・今後市場の急成長が期待されるのは非富裕者層。この市場で早期にポジション獲得しブランを形成しておくことが重要。
- ・従来のイノベーション戦略・モノづくり戦略からの脱却  
⇒高品質・高機能製品を目指すイノベーション創造活動から、単純・低廉・手軽・メンテナンス容易等を追求するイノベーション創造活動への質的転換  
⇒モノづくり戦略からコト（仕組み）づくり戦略への転換
- ・コトづくり戦略強化により、海外展開先での社会的課題解決、雇用創出、所得向上  
⇒新しい市場創造 ⇒企業ブランドの浸透 ⇒無形のロックイン効果発生  
⇒現地にエコ・システム形成 ⇒スイッチング・コスト発生 ⇒有形のロックイン効果発生  
⇒途上国発の新しいイノベーションの芽の誕生（≒国際競争力の源泉獲得）

#### ◆BOPビジネスに挑戦する企業、支援する機関にとっての意義

##### 《企業サイド》

- ・有利な市場の創造・獲得、自社ブランドの形成、イノベーションの質的転換の機会、イノベーションの源泉の獲得
- ・ビジネスモデルの転換の機会（コトづくり重視）、多様な機関との協業の実践、新規流通網の確立・獲得
- ・社内人材の成長の機会提供（人材面でのイノベーション）
- ・「守りのCSR」（法令遵守など）から「攻めのCSR」（事業を通じて社会を改善していくCSR）への発展機会

##### 《NGOサイド》

- ・企業との連携によるNGO活動の強化（企業の持つ技術、資金、専門知識の活用）
- ・多様な機関（日本の企業、行政機関等）へのNGO活動の普及、協力要請

##### 《支援機関、行政機関》

- ・産学官のネットワーク組織の有効活用
- ・途上国で誕生する新市場の成長に合わせて、ネットワーク組織を活用した段階的な交流事業の実施
- ・地域企業の国際競争力強化、経営状況の改善⇒地域経済の活性化
- ・親日国・親日的な地域の形成⇒地域間交流増大⇒貿易増⇒貿易立国としての日本

### ②BOPビジネス関係の支援ツール整理資料にかかる議論

- ・金融や資金調達に加え、人材活用も支援メニューに加える必要があると思う。ちなみに、活用手段の一つである留学生の就職先は、九州ではなく東京になってしまっているのが現状。こうした留学生を活用するメニューの整理も重要。

### ③BOPビジネス戦略のポイント等にかかる議論

#### ◆BOPビジネスの特殊性について

- ・BOPビジネスは、現地の情報入手が難しい。またコストをいかに引き下げるかということがネック。
- ・BOPビジネスのうち、水ビジネスの分野は、日本企業同士でも競争が厳しい。戦略的な取組が重要。
- ・英語ではもう「BOPビジネス」という言葉は使っていない。代わりに「inclusive business」（巻き込み型のビジネス）とっている。いかに多様な者を巻き込んでいくかがビジネスのポイントではないか。
- ・水質浄化はBOP層を抱えた自治体や地域社会（コミュニティ）に提供するという考え方ができる。
- ・最近是小規模のものを提供し、現地用の製品に作ることができる企業が増えてきていると感じている。

#### ◆企業側の課題について

- ・今回の研究会に参加した企業は、マーケティング、ポジショニング、ターゲティングの強化が課題。
- ・貧困層を巻き込んだ包括的なビジネスモデルの構築、製品技術と市場ニーズとの適合性の面でも課題。
- ・一番わかり易いところでモデルを作ってやってみる。成功しないでも構わないという心構えも時には必要。

#### ◆海外展開手法の1つとしてのBOPビジネスについて

- ・BOPの本当に低い層に対するビジネスはハードルが高いので、収入が比較的高いBOP層にチャレンジすべき。
- ・また、海外展開したことが無いような企業がいきなりBOPビジネスに挑戦するのは非常に難しい。そうした企業は、まず、日系企業が入っている工業団地で日系企業相手にビジネスを始めるのが良いと思う。
- ・JETROではまだBOPの看板を出していない。海外ビジネス支援の1つとしてBOPビジネス支援があると認識。

#### ◆BOPビジネスを支援する施策や地域体制の課題について

- ・JICAは今まで、ODAを活用してNGOと連携することはあったが、そこではビジネス面は重視して来なかった。そして、BOPビジネス支援を推進する中で企業との連携が生まれてきたが、大手企業とベンチャー企業が大半である。中小企業との連携は手薄であるので、中小企業向けの連携スキームの構築が組織的課題と認識している。
- ・また、BOPビジネスの成功率を上げるためには、JICAの対応だけでは限界があり、JETRO、METI等と組んでone-stopサービスになる支援スキームを作る必要があると認識している。（⇒今回のBOPビジネス研究会が支援機関・専門家のネットワーク化につながり、地域連携型の支援モデルの元になると考えている。）
- ・金融機関はBOPビジネスに関しては認識不足で、輸出支援などに注力しているのが実情。このため、本研究会に金融機関も入れたらベターだと思う。



〔研究会の議論の風景〕

## VIII. K-RIPのホームページリニューアル

平成24年4月に、「見やすい、使いやすい、役に立つ」を目指してK-RIPのホームページをリニューアル致しました。

具体的には、デザインの刷新、マッチング機能強化、ソーシャルネットワークの活用強化などを行いました。

情報発信に関しましては、事務局から的一方通行だけではなく、K-RIP会員の皆様がイベント紹介や新製品PRなどの情報を発信できる双方向の仕組みを構築しましたのでご活用下さい。

本ホームページを活用して、K-RIP会員皆様のお役に立てれば幸いです。

(制作会社：日本トータルテレマーケティング株式会社)

### 【デザインの刷新&各コンテンツ名称】

The image shows a screenshot of the K-RIP homepage with 16 numbered callouts pointing to specific features:

- ① K-RIP について
- ② K-RIP 支援ツール活用例
- ③ 会員企業データベース
- ④ エコ塾の部屋
- ⑤ イベントカレンダー
- ⑥ メールマガジン登録
- ⑦ 関連団体リンク集
- ⑧ facebook
- ⑨ twitter
- ⑩ 会員からのお知らせ
- ⑪ 出版物ダウンロード
- ⑫ お問い合わせ
- ⑬ 重要なお知らせ
- ⑭ 最新のお知らせ
- ⑮ 事務局からのお知らせ
- ⑯ 公募・助成金情報

A large blue arrow points from the callout ⑯ area towards a smaller screenshot of the homepage at the bottom right, which shows a more detailed view of the '公募・助成金情報' (Public and Grant Information) section.



## 【各コンテンツ概要】

### ①K-RIPについて

・「K-RIPについて（目的、取組紹介等）」「事業計画」「役員図」「入会について（申込書）」「コーディネーター紹介」

### ②K-RIP支援ツール活用例

・K-RIP事業を活用してビジネスが発展した事例を紹介（事業別、分野別で検索可能）  
・会員企業でK-RIP事業を活用してビジネスが発展した事例があればご連絡ください。取材に行き、記事を掲載いたします。



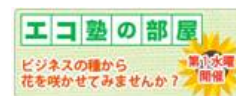
### ③会員企業データベース

・様々な条件（キーワード）からK-RIP会員企業を検索可能  
・会員企業のビジネスマッチングをサポート



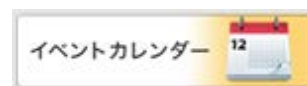
### ④エコ塾の部屋

・次回のエコ塾のご案内を掲載  
・毎回のエコ塾の開催報告（写真付き）を掲載（会員企業は当日の講演資料が添付可能）  
・エコ塾への登壇を希望される方に対してのエントリーシートを掲載



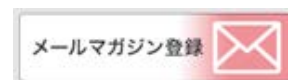
### ⑤イベントカレンダー

・様々なセミナーやイベントの情報を集約  
・会員企業が主催する（周知したい）イベントの情報も掲載可能に



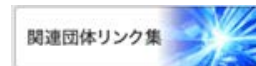
### ⑥メールマガジン登録

・定期的にK-RIP事務局から配信されているメールマガジンについて  
簡単登録（解除も可能）



### ⑦関連団体リンク集

・「経済産業省」「九州経済産業局」「アジア低炭素センター」「財団法人北九州産業技術推進機構（FAIS）」「長崎環境・エネルギー産業ネットワーク」「財団法人宮崎県産業支援財団」「社団法人九州経済連合会」「EPO 九州」「JETRO」「J-Net21」「NEDO」「全国イノベーション推進機関ネットワーク」



### ⑧facebook , ⑨twitter

・K-RIP事務局や会員企業が発信する情報がSNSを通じて発信可能に



### ⑩会員からのお知らせ

・電話や「⑫お問い合わせ」にて、K-RIP会員の皆様からご連絡があった案件（イベントの周知、新製品PRなど）について掲載

### ⑪出版物ダウンロード

・「K-RIP情報誌」、「パンフレット」、「K-RIP会員企業便覧」、「K-RIP会員の製品紹介」、「エコ塾成果事例集」などの電子媒体データが掲載（バックナンバーもあります）

### ⑫お問い合わせ

・4種のお問い合わせが可能（「K-RIPへのお問い合わせ」「会員企業さまからの個別相談」「ウェブサイトへの情報掲載について」「企業登録情報変更」）

### ⑬重要なお知らせ

・締切が迫っているイベントや公募情報などを掲載

### ⑭最新のお知らせ

・⑩、⑮、⑯の情報について最新の情報を上から時系列で掲載

### ⑮事務局からのお知らせ

・イベント案内や事業の開催報告などについて掲載

### ⑯公募・助成金情報

・公募や助成金の情報について掲載

## 【K-RIPのfacebookについて】

K-RIPのホームページの左側(下の図を参照)にK-RIPのfacebookページがございます。

現在、117人の方がK-RIP (facebook ページ) について「いいね！」ボタンを押していた  
だいており、K-RIPの「ファン」になっていただいています。

実際に、このホームページ上の「いいね！」ボタンを押していただくと、以下のログイン画面に  
飛びます。facebook のアカウントを取得されている方は、ここでログインして、「いいね！」ボタ  
ンを押してください。ボタンを押された方は、今後個人ページのニュースフィード(お知らせ欄)にK  
-RIPのHP更新内容や、K-RIP事務局の投稿がリアルタイムで配信されます。

facebook のアカウントを取得されていない方は、もしご関心があれば、アカウントを取得してい  
ただき、K-RIPのfacebook ページの「いいね！」ボタンを押していただけますと幸いです。

※K-RIPのfacebook ページはfacebook アカウントを取得していなくても、見たり、メッセージを  
投稿することは可能です。



K-RIP のホームページ



クリック



メール・パスワードを入力  
してログインすると・・・

K-RIP の facebook ページ



## IX. 平成 24 年度下半期 K-RIP 事業計画

| 日時               | 事業名                             | 場所  | 連携団体              |
|------------------|---------------------------------|-----|-------------------|
| 平成 25 年 1 月 18 日 | 環境ビジネスアライアンスセミナー<br>in 沖縄       | 那覇市 | 内閣府沖縄総合事務局        |
| 平成 25 年 1 月 22 日 | 第 3 回 BOP ビジネス研究会               | 福岡市 |                   |
| 平成 25 年 1 月 25 日 | 環境ビジネスアライアンスマッチング<br>セミナー in 浜松 | 浜松市 | 浜松信用金庫            |
| 平成 25 年 1 月 29 日 | 環境イノベーションフォーラム                  | 熊本市 | EPO 九州<br>九州経済連合会 |
| 平成 25 年 2 月 12 日 | 環境エネルギーセミナー<br>(環境エネルギー戦略会議 関連) | 福岡市 |                   |
| 平成 25 年 2 月 15 日 | 第 4 回 BOP ビジネス研究会及びセミナー         | 福岡市 |                   |
| 平成 25 年 2 月以降    | 平成 25 年度 K-RIP プロジェクト<br>公募開始   |     |                   |

### 【Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza】(K-RIP)

#### 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局



〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東 2 丁目 13-24  
(一財)九州産業技術センター内  
TEL 092-474-0042  
FAX 092-472-6609  
URL <http://www.k-rip.gr.jp/>  
e-mail [info@k-rip.gr.jp](mailto:info@k-rip.gr.jp)

